

令和2年東北地区高等学校野球宮城大会

1回戦		鹿島中央野球場		1時間 26分														
宮城工業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富谷	2	0	0	11	×													
(5回コールド)																		
(球) 武田 徹		(-) 佐々木勝弘		(二) 加藤修一		(三) 山館浩樹		▽本塁打		藤田1(富谷)								
【宮】		田野、黒田		-		飛田		▽三塁打		早坂哲1(富谷), 北條1(富谷)								
【富】		早坂哲、手塚		-		藤田		▽二塁打		なし (宮)								
▽暴投		黒田1(県工)		▽捕逸		飛田1(県工)				早坂哲1(富谷), 山崎1(富谷), (富)								

【評】

令和2年度の開幕試合。富谷の早坂(哲)のリズムの良い投球で、終始ゲームの主導権を握る形となった。

富谷は、1回裏に4安打で2点を先制。4回裏には、1番・早坂(哲)の3点適時三塁打、6番・藤田の左越え3点

本塁打などで、この一回一挙11点の猛攻で試合を決めた。一方、県工は4回表、4番・飛田のチーム初安打など

3安打で2死満塁の好機を得たが、後続が続かなかった。

1回戦		仙台市民球場		2時間 17分													
多賀城	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉松陵	1	1	2	0	1	2	0	0	×								
()																	
(球) 鈴木 渉		(-) 石川英孝		(二) 鈴木 滯		(三) 荒井嘉光		▽本塁打		なし							
【多】		及川瑞、庄司		-		岩崎、佐		▽三塁打		及川瑞(多賀城), 橋, 黒崎2(泉松陵)							
【泉】		池田、佐々木、高橋大		-		橋		▽二塁打		なし (多)							
▽暴投		及川瑞1(多賀城)		▽捕逸		なし				黒崎, 小島 (泉)							

【評】

泉松陵は序盤から小刻みに得点し、優勢に試合を進めた。1回裏は先頭打者の橋の三塁打に4番黒崎の二塁打

で先制、2回は橋の適時打、3回は7番大場の適時打で4点差とした。多賀城は1巡目は1人も走者を出せなかつたが、4回にとらえ3番及川4番山上の長短打で2点差とした。5回には一死満塁のチャンスを作ったが無得点

が逸機だった。後半、泉松陵4番黒崎が得点に絡む打撃を見せ、リードを広げた。これを池田・佐々木・高

橋大の3投手のリレーで守った。特に黒崎は4安打3打点の活躍は見事だった。

1回戦		石巻市民球場		2時間 1分													
石巻好文館	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城広瀬	0	2	1	0	1	0	0	0	×								
()																	
(球) 細川和行		(-) 菅原 久		(二) 長谷川潤ノ介		(三) 畠山和幸		▽本塁打		なし							
【石】		伊藤、森		-		阿部泰		▽三塁打		千葉(石), 鈴木(宮)							
【宮】		清水		-		福田		▽二塁打		なし (石)							
▽暴投		なし		▽捕逸		阿部泰(石)				なし (宮)							

【評】

宮城広瀬が効果的に得点をあげ初戦を突破した。先発の清水は9安打を浴びたが、初回の1失点のみで10

2球完投。2四球のみと安定した投球内容だった。2回裏、先頭の4番・鈴木のリフトオーバー三塁打を

きっかけに、敵失・犠飛等で着実に加点し、6四球を選び8盗塁を決めるなど機動力を生かし終始攻め続け

た。石巻好文館は初回、先頭の千葉のリフトオーバー三塁打から得点し、宮城広瀬を上回る9安打を放った

が、4併殺と好機を生かしきれなかったのが悔やまれる。

令和2年東北地区高等学校野球宮城大会

1回戦		石巻市民球場		2時間 0分				打安点盗犠四三残失併								
仙台第一	0 0 0	0 1 0	0 0 0	0 0 0	1	【仙】	31	7	1	0	4	7	5	12	2	1
小牛田農林	1 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0	【小】	29	3	0	0	3	0	8	4	1	2
(13:57~14:27中断)																
(球) 沼辺力也 (一) 布田秀斗 (二) 吉田喜典 (三) 佐々木瞭太																
【仙】 篠村, 奥山 — 武藤																
【小】 喜世 — 今野友																
▽暴投 なし																
▽捕逸 今野友 (小)																
▽本塁打 なし																
▽三塁打 なし																
▽二塁打 なし (仙)																
石川 (小) (小)																

【評】

両校の投手が息詰まる投手戦を繰り広げた。小牛田農林高は、初回無死1・3塁から、3番、喜世が併殺に倒れる間、3塁走者が生還し、先取点を挙げた。2回以後、両校の投手が好投し、無得点が続く中、5回表、仙台第一高は、2死1・2塁から4番三好の適時打により同点に追いついた。6回以後も両校の投手が要所を締め、9イニングスで決着が付きなかつたため、今大会特別規定により、延長10回はタイブレークとなった。表の仙台第一高は、先頭打者こそ、強硬策が裏目に出て、併殺に倒れるも、残った3塁走者が、捕逸により生還し、勝ち越した。一方、裏の小牛田農林高は、先頭打者は、手堅く犠打し、チャンスを広げたものの、後続を絶たれ、雌雄を決することとなった。試合開始早々、降雨による中断が入るなど、難しさの絡んだゲームであったが、両校の技量の高さが大変光った。高校野球らしい好ゲームであった。

2回戦		仙台市民球場		3時間 4分				打安点盗犠四三残失併								
柴田農林	0 2 1	0 0 0	2 0 0	0 0 0	5	【柴】	34	8	5	1	1	5	8	8	7	1
村田	2 0 4	2 1 2	0 0 ×	0 0 ×	11	【村】	37	10	8	5	1	10	7	13	2	2
(16:51~17:43中断)16:50点灯																
(球) 小倉貴仁 (一) 佐藤 圭 (二) 水戸恭平 (三) 佐藤拓哉																
【柴】 高橋, 井上, 赤間 — 三品																
【村】 新田, 丹野, 新田, 齋藤 — 小室																
▽暴投 井上1(柴農), 丹野1(村田), 齋藤1(村田)																
▽捕逸 三品1(柴農)																
▽本塁打 なし																
▽三塁打 小室, 丹野(村田)																
▽二塁打 加藤 (柴)																
三浦2 (村)																

【評】

大会初日第2試合、南部地区同士の対決は村田高校が勝利した。途中、雷・降雨のため52分間の中断もあったが、両校ともに集中力を切らさず死力を尽くして戦った姿が印象的だった。村田高校は1回裏、敵失の後、3番小室・4番三浦の連続適時打で2点を先制した。柴田農林は2回表、6番赤間からの3連打を生かしてすぐさま2点を返した。さらに3回表には2番佐々木からの2連打を生かして1点を追加したが、3回裏、村田の3番小室の三塁打が敵失を誘い、一挙にホームインしてから長短打を集め、4得点をあげて逆転した。その後、敵失などもあって、村田高校が追加点をあげた。柴田農林は7回表に2アウト走者なしから連続四球と3番高橋の適時打で2点を返して粘ったが及ばなかつた。村田は主将で3番キャッチャーの小室が4安打3打点、3人の投手を盛り立て、攻守の要として活躍が光った。

2回戦		鹿島台中央野球場		2時間 40分				打安点盗犠四三残失併								
古川	0 0 0	1 0 0	0 0 0	0 0 0	0	【古】	31	4	0	2	3	2	8	7	1	0
仙台向山	0 0 0	0 1 0	0 0 0	0 0 0	1×	【仙】	33	6	2	1	2	5	9	11	1	1
()																
(球) 手塚仁基 (一) 岩倉淑浩 (二) 山館浩樹 (三) 邊見豪志																
【古】 高橋涼, 高橋秀 — 齋藤, 高橋涼																
【仙】 木村郁 — 加藤																
▽暴投 木村郁1(向山)																
▽捕逸 なし																
▽本塁打 なし																
▽三塁打 木村郁1(向山)																
▽二塁打 なし (古)																
なし (仙)																

【評】

先発した両投手の粘り強い投球によって、息の抜けない緊張感のある好ゲームが展開された。立ち上がりは向山が四球で出た走者を進めチャンスを作ったものの、決め手を欠き得点に至らなかつた。中盤4回に安打で出たランナーを犠打で進めた古川が、暴投で先取点を挙げると、5回に向山も失策での走者を犠打で進めると、中軸がチャンスで長打を打ちすぐ追いついた。その後は、互いにチャンスを作ったものの、両先発投手の踏ん張りで決め手を欠き、延長タイブレークとなった。10回表、バントで進めた古川がその後を断たれ、裏の向山はバントを決められなかつたものの、再び中軸の長打が出て試合を決めた。

2回戦		平成の森しおかぜ球場		2時間 21分				打安点盗犠四三残失併								
気仙沼向洋	1 0 1	0 1 0	0 5 1	0 5 1	9	【気】	38	14	8	9	2	5	4	9	0	0
泉	3 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	3	【泉】	34	7	3	0	0	1	9	5	1	1
()																
(球) 高橋正博 (一) 阿部徳太郎 (二) 山田裕之 (三) 飯塚文彦																
【気】 吉田凱 — 伊藤遥																
【泉】 堀井, 松田, 熊谷優 — 高橋滉																
▽暴投 堀井3(泉)																
▽捕逸 なし																
▽本塁打 なし																
▽三塁打 千田(気)																
▽二塁打 佐々木 (気)																
なし (泉)																

【評】

平成の森野球場の開幕戦は両チームの点の取り合いで始まった。1回の表、気仙沼向洋高校は二死三塁から四番千田のレフトオーバーの3塁打で先制する。泉高校は直後の1回の裏、1番松田、5番熊谷優、6番作田がヒットを打ち、3点を奪い逆転に成功する。その後、気仙沼向洋打線は泉のエース堀井を攻め、3回は吉田凱、5回には佐々木二塁打で同点とすると、8回に一挙5点を奪い勝ち越しに成功する。泉打線は尻上がりに調子を上げた気仙沼向洋のエース吉田凱を打ち崩せなかつた。吉田凱は2回以降3塁を踏ませない投球で9回を完投し、気仙沼向洋高校が勝利を手にした。

宮城県高等学校野球連盟

2回戦	平成の森しおかぜ球場	1時間 47分																			
仙台西	0 0 0	0 0 0	0																		
東陵	5 0 0	2 0 0	×																		
(球)	菅原 幸	(一) 高橋弥寿仁	(二) 遊佐敏彦	(三) 内海秀幸																	
【仙】	鈴木, 長谷部	—	高部																		
【東】	佐藤柳, 小野寺優, 佐々木諒	—	大沼																		(仙)
▽暴投	鈴木(仙)		▽捕逸	なし																	(東)

【評】
 東陵は初回3番宍戸が右中間に3塁打を放つと、続く4番大沼が左翼に2ランホームランで先制した。東陵はこの回に一拳5点をもぎ取り仙台西を突き放した。仙台西投手鈴木は4回に制球が乱れ、犠打と押し出しで2点を与えてしまった。7回表に2死満塁まで粘った仙台西打線だったが、惜しくも届かなかった。

2回戦	仙台市民球場	2時間 21分																			
東北学院	0 0 2	2 1 0	0 0 2																		
宮城農業	0 0 4	0 0 0	2 0 0																		
(球)	布田秀斗	(一) 雁部博昭	(二) 森山宏則	(三) 手塚仁基																	
【東】	井上, 伊東	—	上田																		
【宮】	及川, 野口	—	松井																		(東)
▽暴投	井上1(学院)		▽捕逸	上田1(学院)																	(宮)

【評】
 降雨の厳しいグラウンドコンディションではあったが、1点を争う接戦となった。東北学院は3回死球で出塁した武田を3番渡邊がライト方向へのヒットで先制し、続く郡山、上田のヒットで2点を取った。その裏宮城農は敵失と死球で出塁したランナーを4番佐藤翔馬の右中間への3塁打で逆転した。東北学院は4回2点5回1点で逆転すると、宮城農は7回に単打を重ねて再度逆転した。最終回東北学院は先頭坂下が敵失で出塁し、4番郡山と5番上田が四球で1死満塁の場面で、6番途中から投手で入った伊東大夢が左前ヒットで2点をもぎ取り宮城農を突き放した。好機を生かし効果的に得点を重ねた宮城農業だったが、8回から登板した伊東からヒットを奪うことはできなかった。

2回戦	石巻市民球場	2時間 5分																			
東北北	2 1 0	2 0 0	4																		
東北生文大	0 0 0	0 0 1	1																		
(球)	三浦 徹	(一) 太田博昭	(二) 野田 学	(三) 黒沼 修																	
【東】	小野寺, 岩崎	—	佐藤																		
【生】	大槻, 櫻井, 佐藤, 奥野, 岩本	—	木皿																		(東)
▽暴投	奥野1(生)		▽捕逸	木皿2(生)																	(生)

【評】
 東北高校が7回コールドで東北生文大高を退けた。途中雨天による1時間の中断があったが、集中力が途切れることなく終始攻め続けた。初回、先頭・門野のレフト前ヒットをから4番・佐藤のタイムリー二塁打で先制。中盤は四死球をきっかけに犠飛で追加点をあげ、7回表には連打から5番・小熊の右中間への本塁打で突き放した。東北生文大高は、8本のヒットを放ったが8番・山岸のタイムリー二塁打と3番・吉岡の左中間への本塁打の2点どまりだった。

2回戦	石巻市民球場	2時間 5分																			
登米	2 2 1	0 1 1	0 0 0																		
白石	0 1 1	0 1 0	0 0 0																		
(球)	水戸恭平	(一) 島貫行男	(二) 沼辺力也	(三) 佐藤 学																	
【登】	三田	—	今野																		
【白】	安住	—	杉内																		(登)
▽暴投	安住2(白)		▽捕逸	杉内2(白)																	(白)

【評】
 登米が着実に得点をあげ初戦を突破した。先発の安住は前半に安打を許すも、6回以降ノーヒットの好投を見せた。攻撃では6回までに長打での加点や、相手のエラーを逃すことなく得点に結びつけた。7回まで毎回安打を出し、終始攻め続け白石の主戦三田を苦しめた。また、9番内海の3塁打など、層の厚さをみせつけた。白石も負けじと長打やエラーで得点を積み重ねたが、後半は3者凡退が続く好機を作ることができなかった。主戦三田も12三振と気を吐く投球を見せたが、力及ばず敗戦となった。

宮城県高等学校野球連盟

2回戦	仙台市民球場	3 時間 4 分			打安点盗犠四三残失併	
東北学院 榴ヶ岡	0 1 1 5 0 0	0 0 0		7	【東】 36 9 4 1 1 6 2 9 0 0	
古川学園	1 0 5 0 1 1	0 1 ×		9	【古】 32 13 8 0 4 7 8 10 3 0	
(球) 三浦 徹 (一) 伊藤誠喜 (二) 武田 徹 (三) 鎌田卓郎					▽本塁打	なし
【東】 日ヶ久保, 柳田 — 小笠原					▽三塁打	なし
【古】 鈴木統, 志賀 — 入駒, 小川					▽二塁打	小笠原 (東) 菊地2, 早川, 村上, 志賀 (古)
▽暴投 日ヶ久保(榴), 鈴木統, 志賀(古)					▽捕逸	なし

【評】

榴ヶ岡に1点のリードを許した古川学園は、3回裏に2安打と死球で一死満塁の好機に、6番早川が右越え二塁打で2点。暴投と9番村上の右越え二塁打で3点を加え逆転した。しかし、榴ヶ岡は4回表に救援志賀から3安打と4番小笠原の左二塁打と2敵失に乗じて5点を奪い逆転し、勝利の行方は定まらない。古川学園は、5回裏に四球と7番志賀の左二塁打、8番近藤の中犠飛で同点にし、6回裏には先頭2番菊地の左二塁打と安打四球を絡めて再逆転し、試合を決めた。終盤榴ヶ岡打線は、立ち直った志賀の前に沈黙した。

2回戦	仙台市民球場	1 時間 58 分			打安点盗犠四三残失併	
白石工業	2 0 0 0 0 0	0		2	【白】 23 4 2 2 2 3 6 5 4 0	
石巻工業	0 2 2 0 3 2	×		9	【石】 31 12 7 3 1 1 3 6 0 0	
(球) 毛利 晃 (一) 菅原勝敏 (二) 小松宗夫 (三) 佐藤亮樹					▽本塁打	なし
【白】 小野 — 高橋					▽三塁打	佐藤(石)
【石】 佐藤, 岩槻 — 和田					▽二塁打	なし (白) 高橋, 梶原2, 和田, 青山 (石)
▽暴投 小野2(白)					▽捕逸	なし

【評】

自慢の長打力で石巻工業がコールド勝ちした。先制したのは白石工業。相手の野選で好機を広げると四番佐久間の右前適時打で2点を先制。しかし、その後は石工佐藤朋のキレのあるスライダーと力強いストレートに抑えられた。佐藤の好投でリズムを作った石巻工業は2回8番高橋の適時二塁打と暴投で同点に迫いつくと、6本の長打を含む12安打で確実に加点し、勝負を決めた。昨秋ベスト8の白石工業は、4つの失策でリズムに乗れなかった。

2回戦	石巻市民球場	1 時間 23 分			打安点盗犠四三残失併	
佐沼	1 0 0 0 2 9			12	【佐】 31 12 9 2 2 3 1 6 0 1	
浦谷	0 0 0 0 0 0			0	【浦】 17 1 0 0 0 3 14 2 5 0	
(球) 山館浩樹 (一) 安部吉彦 (二) 黒沼 修 (三) 森山行輝					▽本塁打	なし
【佐】 菅原, 大友 — 首藤					▽三塁打	木村(浦), 佐々木幹(佐), 及川(佐), 桜田(佐)
【浦】 齋藤大 — 佐藤慎					▽二塁打	菅原, 佐々木歩 (佐) なし (浦)
▽暴投 なし					▽捕逸	佐藤慎1(浦)

【評】

佐沼が12対0の6回コールドで浦谷に快勝した。1回の表、2番・及川の三塁打から先制点を挙げ、5回には相手の失策から2点を追加し、6回は小技を使わず積極的に打って出て長短7安打を集中し、一挙9得点を挙げて試合を決定づけた。主戦・菅原は球威、制球とも抜群で5回までに毎三振13個とつけ入る隙を与えなかった。一方浦谷は1安打と振るわず、主戦・齋藤大樹が根気強く投げたが、5失策もあり佐沼打線の勢いを止めることができなかった。

2回戦	石巻市民球場	2 時間 32 分			打安点盗犠四三残失併	
築館	0 3 0 0 2 0	1 0 2		8	【築】 36 10 7 2 3 5 5 9 3 0	
古川黎明	1 0 1 1 0 0	0 0 2		5	【古】 29 6 4 0 5 11 5 13 5 0	
(球) 鴫田代志昭 (一) 石川英孝 (二) 布田秀斗 (三) 沼辺力也					▽本塁打	なし
【築】 及川, 高橋, 川田 — 川田, 渡邊					▽三塁打	千葉大2, 曾根(築)
【古】 石山, 齋藤, 坂野, 田中, 目々澤 — 齋藤, 石山, 齋藤					▽二塁打	千葉凛 (築) なし (古)
▽暴投 及川(築), 齋藤, 坂野2(古)					▽捕逸	なし

【評】

同地区対決となったこの試合は、小刻みに得点を重ねた築館が勝利した。3対3の同点で迎えた5回表、築館は1死から2番の千葉大地が3塁打を放つと、3番千葉凛のセンター前タイムリーで勝ち越しに成功。さらにこの回1点を加え突き放した。築館は7回・9回にも追加点を重ね試合を決めた。古川黎明は5回以降チャンスを作ったが、攻めきれず、最終回到2点を奪い、意地を見せたが及ばなかった。

宮城県高等学校野球連盟

2回戦	石巻市民球場	3 時間 6 分																		
大崎中央	5 3 0	0 0 1	0 4 0	13	【大】	36	12	12	4	2	11	7	9	3	1					
松島	0 0 1	5 0 3	0 0 0	9	【松】	39	13	9	0	1	3	10	7	3	2					
(球)	黒沼 修 (一) 米谷正信 (二) 高橋弥寿仁 (三) 佐々木瞭大																			
【大】	村山, 齊藤, 氏家	—	佐藤駿																	
【松】	三上, 永野, 須藤	—	佐藤, 早坂																	
▽暴投	永野1, 須藤1(松)		▽捕逸 なし																	

【評】
両チーム合わせて25安打を放つ乱打戦となった。序盤ペースをつかんだのは大崎中央で、初回、失策と四球でためたランナーを下位打線の2本の適時打で返し、5点を先制した。2回にも4番遠山のHRで3点を加えた。ここから松島高校がリリーフした永野投手の好投もあり流れをつかみ、3回から得点を重ね6回には9対9と試合を振り出しに戻した。最後は大崎中央が3番手氏家投手の踏ん張りや上位打線の長打で松島を突き放し、勝負を決めた。

2回戦	石巻市民球場	1 時間 45 分																		
仙台南	1 0 0	3 3 3	10	【仙】	29	11	8	5	1	9	5	11	0	1						
一迫商・岩ヶ	0 0 0	0 0 0	0	【三】	20	3	0	1	0	0	7	2	1	0						
(球)	沼辺力也 (一) 高橋弥寿仁 (二) 安部吉彦 (三) 邊見豪志																			
【仙】	高木	—	三田村																	
【三】	佐藤, 千葉蒼, 及川	—	松浦																	
▽暴投	高木1(仙台南)		▽捕逸 松浦1(三校連合)																	

【評】
仙台南高校が10対0(6回コールド)で圧勝した。仙台南は初回先頭打者の中澤が右中間三塁打を放ち続く成澤が中前打で先制点を挙げた。その後は三校連合先発の佐藤慶の巧みな投球術で追加点を挙げることができず攻めあぐねた。しかし、4回に四球からチャンスを広げると4回、5回、6回と3点ずつ追加点を挙げ一気に三校連合を突き放した。三校連合は2回に5番千葉蒼の安打で出塁すると、盗塁と暴投で三塁まで走者を進めたが、後続が倒れ得点機を逃した。5回には谷津と相馬の連打でチャンスを広げたが、後続が倒れ得点には至らなかった。仙台南の主戦佐藤はカーブと力のあるストレートを低めに集め3安打7奪三振で完封した。

2回戦	仙台市民球場	2 時間 28 分																		
仙台東	1 6 0	2 3 4	16	【仙】	38	19	14	2	3	8	6	12	3	0						
名取	0 0 3	0 4 0	8	【名】	30	10	8	0	1	4	5	6	3	1						
(球)	野田 学 (一) 武田 徹 (二) 新野祥平 (三) 島田翔平																			
【仙】	佐藤辰	—	佐々木																	
【名】	荒川, 堀籠, 佐藤和	—	内海																	
▽暴投	佐藤辰1(仙台東), 堀籠1(名取)		▽捕逸 なし																	

【評】
1回に1点先制した仙台東は、2回3番佐藤海の中二塁打と5番杉山の右中間三塁打等で一举6点を挙げ、序盤で試合の主導権を握った。4回にも先頭の佐藤海の左越え三塁打、4番安田の左適時打で加点。5回は安田の左中間二塁打と相手投手の制球の乱れに乗じてさらに3点。6回は1番鹿志村の右二塁打、安田の犠飛、代打金澤の右中間二塁打等で4点を加えた。19安打16点の猛攻であった。名取は、3回に1番小松原の右中間二塁打、2番荒川の右前安打で3点。5回に7番佐藤和の中前安打、5番武田の左前安打等で4点奪取。7回に3番内海の中前安打で1点返すも及ばなかった。

2回戦	仙台市民球場	1 時間 30 分																		
黒川	4 6 4	1 0	15	【黒】	28	13	13	2	1	9	1	8	0	1						
亘理	0 0 0	0 0	0	【亘】	18	4	0	2	0	2	4	5	3	0						
(球)	細川和行 (一) 鴫田代志昭 (二) 山館浩樹 (三) 毛利 晃																			
【黒】	松村, 伊藤	—	福島																	
【亘】	竹林, 瀬戸川, 及川	—	菊地																	
▽暴投	及川1(亘理)		▽捕逸 なし																	

【評】
黒川高が投打に亘理高を圧倒した。黒川高の打線は初回に3本の長短打と相手の失策も絡み4得点。続く2回にも四球や4安打で6点を追加し、序盤で主導権を握った。その後も攻撃の手を緩めず4回までに13安打15得点、投げてはエースの松村が4回まで相手打線を散發2安打に抑え、5回にリリーフした伊藤もピンチはあったものの無失点に切り抜け、5回コールドで初戦を飾った。一方の亘理高は、初回に2つの失策、2回には2つの押し出しを含む4四球を与えるなど立ち上がりからリズムを作れず悔しい結果となった。

宮城県高等学校野球連盟

2回戦	石巻市民球場	1時間 32分																		
塩釜	0 0 2 0 0																			
仙台育英	1 3 5 6 X																			
(球)	雁部博昭 (一) 鶴田代志昭 (二) 佐藤 圭 (三) 小松宗夫																			
【塩釜】	齊藤	—	大場																	
【仙台】	尾形, 粕谷	—	小野寺, 吉原																	
▽暴投	なし																			

【評】

第一シード仙台育英と塩釜の一戦。仙台育英は一回裏一死から2番宮本の中前二塁打、3番佐々木の左中間三塁打で先制。4-0でむかえた3回裏には塩釜の主戦斎藤を攻め4本の長短打と三四死球で5点を挙げた。その後の4回裏にも6点を挙げ、13安打15得点の5回コールドで勝利した。塩釜は3回表に仙台育英の先発尾形の制球が乱れたところを攻め一死満塁の好機をつくると3番寺澤の二ゴロ間と、4番大場の左前適時打で2点を返して反撃ムードをつくったが力及ばず敗戦となった。

2回戦	石巻市民球場	1時間 32分																		
本吉響・宮城	0 0 0 0 0 0																			
仙台城南	0 2 2 3 0 3X																			
(球)	加藤修一 (一) 阿部徳太郎 (二) 高橋正博 (三) 小林良守																			
【響】	村上	—	阿部																	
【仙】	阿部侖	—	石川																	
▽暴投	村上2(響・水)																			

【評】

第3シード仙台城南と本吉響・宮城水産連合チームの一戦。仙台城南は2回裏二死2・3塁から1番川村の中前打で2点先制。3回裏には連合チームの守備の乱れをついて2点を加え、4回裏には4番高橋の左越3ランが試合の流れを決めた。その後の6回裏に3点を挙げ、15安打10得点の6回コールドで勝利した。先発の阿部侖は6回を投げ2安打、無四死球で無失点と好投した。本吉響・宮城水産連合チームは、2回表に6番菅原、7番阿部の連打で二死1・2塁の好機をつくったが得点はならなかった。試合序盤には、主戦村上が粘り強い投球で試合をつくったが、力及ばず敗戦となった。

2回戦	仙台市民球場	2時間 6分																		
仙台第三	2 1 0 0 0 0																			
聖和学園	1 0 0 0 0 4																			
(球)	大槻充夫 (一) 高橋 勝 (二) 野田 学 (三) 長谷川鴻ノ介																			
【仙】	小野, 千葉康	—	千葉陽																	
【聖】	丹野, 小林	—	畠山																	
▽暴投	小野1(仙台三)																			

【評】

仙台三は初回1死から4連打で2点を先制。2回も2連打と犠飛で1点を追加した。聖和学園も1回裏に先頭打者庄司の先頭打者本塁打で1点を返した。その後はお互いチャンスらしいチャンスもなく、無得点が続き迎えた6回裏、ヒットと四球等で1点を返しなお満塁で、8番長谷川がフルカウントから真ん中高めに入ったフォークボールをとらえ、走者一掃の左越二塁打で一気に試合をひっくり返した。仙台三は3回から登板した聖和学園2番手の小林の伸びのある直球に、散發2安打、8奪三振に抑えられ2塁すら踏めず敗退した。

2回戦	仙台市民球場	1時間 33分																		
仙台商業	3 1 1 5 4																			
加美農業	1 0 0 0 0																			
(球)	佐藤拓哉 (一) 細川和行 (二) 浅野卓也 (三) 島田翔平																			
【仙】	宮澤, 平片	—	大和田																	
【加】	桑島, 氏家, 桑島	—	小幡																	
▽暴投	氏家1(加美農業)																			

【評】

仙台商業は16安打の猛攻で、加美農業の先発桑島二番手氏家の二投手を打ち崩し圧倒、5回コールドで勝利した。仙台商業は、1回に4番千葉の右三塁打と6番伊東の左二塁打で3点先制し、4回には3番濱田の中前安打で1点、6番伊東7番宮澤の連打で4点あげるなど毎回得点し、14点を積み重ねた。先発宮澤は、初回ボークで失点したが、その後は5奪三振と好投、救援平片は、2回無安打4奪三振と試合を締めた。加美農業は、1番鈴木健人が2打数2安打1盗塁と、1番打者らしい活躍を見せたが、力及ばず涙を飲んだ。

宮城県高等学校野球連盟

2回戦	平成の森しおかぜ球場	1時間 40分																		
志津川・石巻	1 0 0	0 0																		
登米総合産業	5 3 6	2 ×																		
(球)	三浦 徹	(一) 米谷正信	(二) 佐々木勝弘	(三) 津久家敏彦																
【志】	氏家, 久保田, 小野	—	阿部																	
【登】	千葉, 山田, 阿部透	—	松浦大																	
▽暴投	久保田1(志北), 山田1(登)		▽捕逸	阿部1(志北), 松浦大1(登)																

【評】

初回、志津川・石巻北高は、登米総産高の投手千葉の立ち上がりの制球の乱れをつき志津川高の上位打線のつながりで先制点を挙げた。その裏、登米総産高も3・4番の長打ですぐに逆転に成功し、2回以降でも長・短打で加点し大きくリードした。志津川・石巻北は2回以降の攻撃で走者を出すものの、打線がつながらず得点に結びつかなかった。

2回戦	平成の森しおかぜ球場	2時間 0分																		
石巻西	1 0 0	0 0 0																		
泉館山	0 0 0	0 1 0																		
(球)	黒沼 修	(一) 石川英孝	(二) 松浦茂樹	(三) 菅原 紀雄																
【石】	石川	—	伊藤																	
【泉】	谷口	—	丸山																	
▽暴投	なし		▽捕逸	なし																

【評】

1回表、石巻西高校の1番打者・永沼が三塁打で出塁すると、2番阿部がタイムリーヒットを打ち、先制した。その後、5回裏に泉館山の7番谷口が四球で出塁すると、7番伊藤の犠打、1番の高橋のタイムリーで同点とした。8回裏には、四球や失策が重なってしまったものの、全体的に泉館山の谷口投手と石巻西の石川投手の要所を締めた素晴らしい投手戦となった。

2回戦	鹿島台中央野球場	1時間 42分																		
古川工業	4 0 4	0 0 1																		
名取北	0 0 0	0 0 0																		
(球)	太田博昭	(一) 吉田喜典	(二) 山田裕之	(三) 相澤大樹																
【古】	岩崎, 小関	—	板垣																	
【名】	本郷, 池原	—	桐越																	
▽暴投	なし		▽捕逸	桐越(名)																

【評】

第4シード古川工が投打で名取北を圧倒し、7回コールドで勝利した。古川工は、初回から5番佐々木俊の適時二塁打を含む4連打で4点をあげた。3回には名取北の失策も絡んで1死満塁となり、8番小川の走者一掃の適時三塁打で3点を追加し、点差を広げた。名取北は、古川工の先発岩崎から毎回出塁し、3回と5回には1死二塁の好機もつくったが、それを生かせなかった。本郷から代わった名取北の投手池原も、古川工を4回1失点と好投したが、岩崎から代わった投手小関に、名取北打線は2回5三振と抑えられた。

2回戦	鹿島台中央野球場	2時間 23分																		
仙台第二	0 0 4	0 0 0																		
仙台台	0 0 0	0 4 0																		
(球)	布田秀斗	(一) 菅原 幸	(二) 藤村一也	(三) 小倉貴仁																
【仙】	両国, 小野寺, 佐藤	—	南																	
【仙】	鎌田	—	藤原, 大橋																	
▽暴投	両国(仙二), 鎌田(仙) 3		▽捕逸	なし																

【評】

テンポの良い投手戦で序盤は進んだが、3回表に仙台二が佐藤活の2点適時打などの連打で4点を先制した。仙台は、5回裏3四死球を活かし、4点を挙げ同点とした。8回裏に仙台が適時打と犠飛で2点を挙げ、9回表に1点を返しなお2死満塁と追いつがる仙台二を振り切って接戦をものにした。仙台の主戦鎌田は、161球の粘り強い投球で要所を抑え、主導権を渡さなかった。最後まで目が離せない好試合であった。

宮城県高等学校野球連盟

2回戦		平成の森しおかぜ球場			2時間 37分																	
気仙沼	石巻商業	0	0	4	0	2	0	1	1	2	10	【気】	39	13	10	1	1	10	5	13	2	0
		2	0	0	0	0	0	0	0	1	3	【石】	32	6	3	1	2	5	3	9	2	1
(球) 手塚仁基 (一) 遠藤 玲 (二) 新田健治 (三) 安部吉彦												▽本塁打	なし									
【気】 岩淵, 佐藤太												▽三塁打	遠藤(気), 小野寺(石)									
【石】 木村遼, 新田, 木村遼												▽二塁打	佐々木2, 茂木 (気)									
▽暴投 なし												▽捕逸 なし (石)										

【評】

気仙沼高校が13安打を放ち、快勝した。3回表に四球とエラーから長短打を含め4得点、その後も着実に加点し、試合の流れを決定づけた。石巻商業は、初回到2四球から連打で2得点を挙げたが、その後なかなかチャンスを得られず、最終回到1点返したものの敗れた。

2回戦		平成の森しおかぜ球場			2時間 5分																	
宮城広瀬	石巻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	【宮】	25	3	0	1	1	3	3	5	0	0
		1	1	0	2	1	1	0	1	x	7	【石】	28	11	7	0	4	3	3	6	1	0
(球) 沼辺力也 (一) 本田恵一 (二) 佐々木勝弘 (三) 佐藤 学												▽本塁打	武田康汰2(石)									
【宮】 清水, 八鍬												▽三塁打	なし									
【石】 本木												▽二塁打	なし (宮)									
▽暴投 清水1(宮)												▽捕逸 なし (石)										

【評】

石巻高校が宮城広瀬高校を7対0(8回コールド)で下した。石巻高校は初回1番齊藤がピッチャー強襲安打で出塁し、2番本木が送り、3番木村が中前安打。続く4番小野寺のレフトへの犠飛により先制した。その後2回裏には、8番武田の左翼への大会9号本塁打、さらに4回には同打者による2打席連続となる大会第11号の左翼へのツーラン本塁打により4点差と引き離れた。5回と6回にも1点ずつ追加点を重ね、8回には四球と2安打により7点目を挙げコールドゲームとした。宮城広瀬高校は7回到3塁まで走者を進めたがチャンスを潰した。石巻高校の投手本木の前に散発3安打無得点に封じられた。

2回戦		石巻市民球場			2時間 37分																	
迫桜	仙台工業	2	0	0	0	0	1	0	0	2	5	【迫】	34	6	3	3	1	8	7	11	0	0
		0	0	2	2	0	1	0	1	x	6	【仙】	30	10	6	2	4	7	3	11	3	0
(球) 毛利 晃 (一) 佐藤拓哉 (二) 内海秀幸 (三) 遊佐敏彦												▽本塁打	なし									
【迫】 岩淵, 菅原礼												▽三塁打	菅谷, 荒川(仙)									
【仙】 米山, 伊藤, 遠藤												▽二塁打	なし (迫)									
▽暴投 なし												▽捕逸 今村1(仙) (仙)										

【評】

仙台工が6対5で接戦を制した。3回裏、2番・菅谷の三塁打から3番・荒川の二塁打と後続の内野ゴロの間に追いつき、4回以降は四死球で得たチャンスから、タイムリーヒットや犠飛で着実に得点を重ねていった。特に4番・今村は3打点と大いに勝利に貢献した。守りでは失策が失点に絡んだが、3投手の継投で何とか逃げ切った。迫桜は初回、四球とエラーから2点を先制。最終回到1番・高橋の強襲ヒットをきっかけに四死球や相手エラーの好機を活かし、1点差まで追い上げたがあと一本が出なかった。制球に苦しみながら岩淵・菅原と継投して根気強く守り、最終回の攻撃に繋がった。

2回戦		石巻市民球場			2時間 3分																	
富谷	仙台高専名取	1	1	0	2	0	0	0	0	0	4	【富】	31	8	4	0	1	4	1	5	3	1
		0	0	2	1	2	0	0	0	x	5	【仙】	32	10	3	1	2	1	6	6	1	3
(球) 森山宏則 (一) 武田 徹 (二) 高橋弥寿仁 (三) 梅津交則												▽本塁打	藤田(富)									
【富】 早坂哲												▽三塁打	早坂哲(富), 川野(仙)									
【仙】 川野, 増田												▽二塁打	なし (富)									
▽暴投 なし												▽捕逸 なし (仙)										

【評】

4対5で仙台高専名取が接戦を制した。4対3で富谷がリードする5回裏9番齋藤が左翼手前に安打、1番川野が中堅手飛打で1死、2番江川が中堅手前安打、投手にバント安打。1死満塁の場面、4番ショートゴロで1塁走者が封殺、併殺を狙い2塁手が1塁へ送球する際に1塁走者と交錯した。交錯した二塁手の送球が1塁への悪送球となり、三塁走者が本塁へと生還した。これが決勝点となり、4対5で仙台高専名取が制した。

宮城県高等学校野球連盟

2回戦	仙台市民球場	2時間 26分																		
柴田	3 1 0	5 0 0	0																	
日本ウェルネス	0 0 0	0 0 0	0																	
(球)	小松宗夫	(一) 平岡 勲	(二) 山下大輔	(三) 新野祥平																
【柴】	佐々木, 森谷	—	阿部翔, 結城																	
【日】	早坂, 西内, 菅井	—	高橋																	
▽暴投	西内1 (ウェル)		▽捕逸	なし																

【評】

柴田高校が大会初出場の日本ウェルネス宮城高校に快勝した。柴田高校は初回到相手の立ち上がりを攻めて、一番から三連打で2点を先取するとこの回にもう1点を追加。さらに2回にも1点、4回には4安打に相手の失策も絡んで一挙5点をあげ大きくリードを広げた。投げては、二投手のリレーで7回を無失点に抑えた。1年生のみで臨んだ新鋭のウェルネス宮城は、3番手で登板した左腕菅井が5回以降を相手に追加点を与えず、攻撃でも8安打を放つなど粘りを見せたが、決定打を欠き7回コールドでの悔しい敗戦となった。

2回戦	仙台市民球場	2時間 5分																		
大河原商業	2 0 0	0 0 0	0																	
角田	0 0 0	5 1 1	2X																	
(球)	山舘浩樹	(一) 佐藤正江	(二) 水戸恭平	(三) 三浦昌浩																
【大】	森, 佐藤匠, 中村	—	佐藤快, 森																	
【角】	森, 佐藤	—	安藤																	
▽暴投	佐藤1 (角)		▽捕逸	なし																

【評】

1回表大商は1番佐藤が投ゴロ悪送球で出塁、4番森と5番中村の連続2塁打で2点を先制した。角田は2番手佐藤匠から5番森の四球と7番安藤の右前打を足掛かりに8番遠藤、9番伊藤、1番岡本の3連続3塁打で一挙に5点を奪い逆転した。角田は5回サードエラーと犠打と盗塁に捕手の3塁悪送球で1点、続く6回には2番信濃、3番太田の連続3塁打で1点を加え大商を突き放した。7回にはサードエラーと7番安藤の左前打と2つの盗塁を絡め1死2・3塁とし、8番遠藤の中前打で2者が生還し試合を決めた。角田はヒット9本のうち6本が3塁打という長打力が光った。

2回戦	鹿島台中央野球場	1時間 48分																		
泉松陵	1 0 6	3 10																		
鹿島台商業	0 0 0	0 0																		
(球)	加藤修一	(一) 雁部博昭	(二) 熊谷勇也	(三) 深沢豊夫																
【泉】	相澤	—	橋, 赤間																	
【鹿】	豊榮, 宮川, 小堤	—	小堤, 中西																	
▽暴投	豊榮1 (鹿)		▽捕逸	なし																

【評】

鹿島台商業豊榮、泉松陵相澤、両チームともに1年生投手の先発で試合が始まった。鹿島台商業豊榮は、初回の泉松陵打線に対して、四球で出したランナー3塁に置き暴投で1点を与えたものの、2回は3者凡退に抑えるなど、まずまずの立ち上がりであった。しかし、3回高めに浮いたところを泉松陵上位打線につかまり、4番黒崎のHRなどで6点を失うと、さらに鹿島台商業はリリーフ陣もつかまり、4回5回と大量失点を許した。一方、泉松陵先発相澤は、5回参考ながらノーヒット・ノーランに相手打線を抑える好投で、鹿島台商業に付け入る隙を与えなかった。

2回戦	鹿島台中央野球場	2時間 26分																		
中新田	0 0 1	0 0 0	1 0																	
利府	2 1 1	1 0 2	0 2X																	
(球)	野田 学	(一) 菅原 久	(二) 西城皇祐	(三) 千葉裕介																
【中】	杉木	—	宮東																	
【利】	長岡, 小野, 茂木	—	日野, 高橋元																	
▽暴投	杉木2 (中)		▽捕逸	なし																

【評】

利府の13安打の攻撃で、終始にわたり着実に加点していき、3投手の継投で8回コールドで勝利を収めた。利府は初回、1番・針生の中前安打から暴投と内野ゴロの間に2点を先制。また6回には、4番郷右近の犠飛と5番左前適時打で2点を追加し試合を決めた。一方、中新田は3回、2番吉岡の二塁打から4番宮東の中前適時打で1点を返したが、後続が続かなかった。

3回戦		石巻市民球場		2 時間 54 分													
東北学院	3 0 0	0 0 0	0 0 4	7		【東】	36	9	5	1	2	10	6	14	1	0	
古川学園	0 0 1	0 0 1	0 0 0	2		【古】	28	5	2	0	3	3	6	5	5	1	
(球) 沼辺力也 (一) 金 昌明 (二) 西城皇祐 (三) 新田健治																	
【東】	井上, 伊東	—	上田			▽本塁打											
【古】	早川, 志賀, 鈴木統, 志賀	—	入駒, 小川			▽三塁打											
▽暴投	なし					▽二塁打											

【評】
東北学院は、初回到3四球で出塁し、5番上田の犠飛で先制し、6番井上の右翼への3塁打で加点し3点をあげた。先発の井上は5回まで古川学園の打線を3安打1点に抑え、6回から継投した伊東も1点を失うも要所を抑えた。打線は9回到3連打と内野の失策に乗じ4点を追加し試合を決めた。古川学園は、井上・伊東の両投手に散発5安打に抑えられ、好機を作ることができなかった。

3回戦		石巻市民球場		1 時間 18 分													
黒川	0 0 1	0 0	2 3x	1		【黒】	20	5	1	1	0	0	1	4	0	0	
東北	0 5 1	2 3x	5回コールド	11		【東】	22	12	11	4	2	10	0	10	1	0	
(球) 佐藤 圭 (一) 加藤正弘 (二) 小倉貴仁 (三) 福田好伸																	
【黒】	松村, 須藤	—	福島			▽本塁打											
【東】	小野寺	—	佐藤			▽三塁打											
▽暴投	須藤1(黒)					▽二塁打											

【評】
1対1の5回コールドで東北高校打線が黒川高校を圧倒した。0-0で迎えた東北高校2回裏の攻撃で2死球と八番津田の3点2塁打など6安打を固め打ちし、5点をあげた。黒川高校は3回表、5点を追い、我妻の内野安打、折笠の右翼への2塁打で無死一二塁と好機を広げたが、後続が1点をあげるにとどまった。東北高校は黒川高校の投手2名から10四死球に12安打を絡めて、大量11点をあげ勝利した。

3回戦		鹿島台中央野球場		2 時間 42 分													
佐沼	2 2 0	0 0 0	0 0 0	4		【佐】	35	7	4	1	1	4	11	9	1	2	
大崎中央	1 0 0	0 0 0	0 0 0	1		【大】	29	5	1	3	1	8	8	10	3	0	
(球) 小松宗夫 (一) 佐藤拓哉 (二) 渡辺明夫 (三) 米谷正信																	
【佐】	菅原	—	首藤			▽本塁打											
【大】	村山, 齊藤, 氏家	—	佐藤駿			▽三塁打											
▽暴投	なし					▽二塁打											

【評】
立ち上がりのチャンスを確実に活かし、得点を挙げた佐沼が、主戦菅原の力投で大崎の反撃を抑えてリードを保ち、勝利をものにした。佐沼は初回、敵失で出塁した佐々木歩を佐々木智の二塁打で返し、さらに桜田の左前打で2点を先制した。二回も二死二塁から及川の内野安打の間に左越二塁打で追加点を挙げた佐々木歩が生還して2点を追加した。三回以降は、大崎の救援投手齊藤・氏家、佐沼の菅原が要所を締め、得点を許さず引き締まった試合となった。大崎は初回、四球で出塁した麦谷が佐藤大の左前打で生還し、すぐ1点を返したが、中盤までに何度か得点のチャンスを作るもあと一本が出ず、後半以降は、粘り強い投球の菅原に抑えられ、試合の主導権を握り返すことはできなかった。

3回戦		鹿島台中央野球場		2 時間 47 分													
角田	1 0 0	0 0 0	0 0 0	1		【角】	32	10	1	0	3	4	1	11	1	1	
石巻	0 0 4	0 1 0	0 0 x	5		【石】	30	9	5	1	2	6	4	9	1	3	
(球) 鈴木 渉 (一) 高橋弥寿仁 (二) 武田 徹 (三) 遠藤 玲																	
【角】	森, 佐藤	—	安藤			▽本塁打											
【石】	本木	—	阿部			▽三塁打											
▽暴投	なし					▽二塁打											

【評】
先攻の角田が石巻先発の本木を攻め、安打の走者をバントで送り、4番安藤のタイムリーで先制した。一方石巻は3回到先頭齋藤の三塁打を皮切りに4安打と1四球を絡めて打線がつながり、4点を挙げ逆転した。さらに6回にも長打と四球などで追加点を挙げ、リードを広げた。角田のリリーフ佐藤は低めにコントロールされた投球で、6回以降石巻打線を抑えたが、角田は再三にわたって、無死でのランナーを出塁させたものの、石巻先発本木の丁寧な投球により後続を断たれ、合計10安打を放ったものの、追加点を挙げることができなかった。

4回戦		鹿島中央野球場		1時間 52分				打安点盗犠四三残失併											
佐	沼	0	0	0	1	2	0	0	【佐】	23	4	3	2	0	3	8	2	1	0
仙	台	1	1	1	0	1	0	0	【仙】	30	13	10	2	4	2	7	7	0	2
(球) 野田 学 (一) 菅原 久 (二) 沼辺力也 (三) 山田裕之										▽本塁打		なし							
【佐】 菅原, 大友, 佐々木幹一 首藤										▽三塁打		倉田, 鎌田, 加藤 (仙), 米倉 (佐)							
【仙】 鎌田 一 藤原, 大橋										▽二塁打		佐々木幹一 (佐)							
▽暴投 鎌田 (仙) 1										▽捕逸		大橋 (仙) 1							

【評】

力が仲伸る実力校がお互いに持ち味を發揮する、緊迫感ある試合となった。立ち上がりは仙台打線が、制球の安定しない佐沼の先発菅原をとらえ、1回から3回まで1点ずつ得点し、流れを掴んだ。

一方の佐沼は4回に1点を返すと、その裏の守りでも仙台打線を3人で打ち取り、さらに5回の攻撃で2点を返し、試合を振り出しに戻した。その後は両投手の持ち味が冴えわたり、ともに6回は相手打線を三者凡退で退けた。最後は、昨日150球以上を投げ連投の疲れが見え始めた菅原投手を仙台打線が長単打で打ち崩し、息詰まる試合に終止符を打った。

4回戦		石巻市民球場		2時間 40分				打安点盗犠四三残失併											
古	工	0	0	0	0	1	0	0	【古】	40	11	7	1	2	2	11	9	2	2
仙	台	0	0	0	0	0	1	0	【仙】	37	9	4	3	1	4	11	10	2	0
(延長10回タイブレーク)										▽本塁打		なし							
(球) 布田秀斗 (一) 安部吉彦 (二) 高橋正博 (三) 西城皇祐										▽三塁打		なし							
【古】 佐々木俊 一 板垣										▽二塁打		齋田, 岩崎, 板垣 (古)							
【仙】 安田, 佐藤辰 一 佐々木										▽暴投		なし							
▽暴投 なし										▽捕逸		なし							

【評】

古川工業が10回タイブレークの末、7対4で仙台東に勝利し、ベスト8進出を決めた。古川工業は6回二死から一番高橋のバント安打、二番の小野の左翼への安打で先制した。対する仙台東は7回7番中善寺が四球で出塁、続く8番佐々木のバント安打が相手守備失策を誘い無死一二塁とし、1番鹿村の犠打により同点に追いついた。両チームともに投手を中心に守備が堅く1対1のまま9回を終えタイブレークに突入した。10回先攻め古川工業は1番高橋のバント安打で満塁とし、2番小野が四球を選び3番岩崎4番板垣の連続二塁打で6点を挙げた。一方後攻め仙台東は1番鹿志村が左翼への適時打で1点、なお走者一、二塁としたが、三番四番の二安打で2点を追加し、計3点を挙げるとどまった。

4回戦		石巻市民球場		2時間 46分				打安点盗犠四三残失併											
柴	田	0	0	2	0	0	1	1	【柴】	32	12	4	2	7	2	6	9	1	1
東	北	0	0	0	0	2	0	2	【東】	34	10	4	0	3	3	7	9	2	2
(球) 菅原 幸 (一) 野田 学 (二) 水戸恭平 (三) 加藤修一										▽本塁打		なし							
【柴】 佐々木, 古山 一 阿部翔										▽三塁打		佐藤終 (柴), 大和田 (学)							
【東】 井上, 伊東 一 上田										▽二塁打		なし (柴)							
▽暴投 佐々木1 (柴), 井上1 (学)										▽捕逸		なし (東)							

【評】

柴田は3回9番佐々木が左前打で出塁すると、1番岩間がサードへのバントヒットで続き、2番佐藤大、3番阿部着の連続バント犠打で先制した。さらに4番渡部が中前打で2点目をたたき出した。6回には6番佐藤終のセンターオーバー3塁打を7番横山が犠打で返し3点目をもぎ取った。東北学院は6回裏、この回から1塁を守った4番木村が左前打で出塁し、6番大和田がライト線2塁打で1死3塁2塁となった場面で7番渡邊のライト線へのヒットで1点を取った。続く8番代打の竹内がライトへの犠飛で2点目をもぎ取った。7回にも単打で4点目を取った柴田であったが、8回裏にセカンドエラーで出塁した東北学院伊東と死球で出塁した大和田を7回からセカンドに入った8番宮澤がライトへのヒットで2人を返し同点に追いついた。9回表柴田は1番沼田がショートエラーで出塁し、2番佐藤大が犠打で2塁へ送った。3番阿部はショートゴロに倒れ、2死2塁となった場面で4番渡部が打ったセカンドへの打球はセカンドの悪送球を誘いその間に沼田がホームに帰る5点目となり、この得点が決勝点となった。結果的にエラーでの得点が決勝点となったこの試合だが、最後まで勝敗の行方が分からない手に汗握る接戦となった。

4回戦		石巻市民球場		2時間 16分				打安点盗犠四三残失併											
石	巻	0	0	0	1	0	1	0	【石】	34	7	1	0	1	1	15	7	1	3
東	北	1	0	0	0	1	1	×	【東】	32	14	5	2	1	3	5	7	2	0
(15-53点打【左】水戸恭平【右】西城皇祐)										▽本塁打		門野 (東)							
(球) 鶴田代志昭 (一) 小松宗夫 (二) 毛利 晃 (三) 佐藤正江										▽三塁打		齋藤 (東)							
【石】 本木 一 阿部										▽二塁打		清水, 齋藤, 武田 (石)							
【東】 岩崎, 佐藤宏, 山本 一 佐藤琉										▽暴投		なし (東)							
▽暴投 なし										▽捕逸		なし							

【評】

ベスト8最後の椅子をかけた一戦は、伝統校同士の対決に相応しい、白熱した試合となった。東北は、2対2の同点で迎えた6回裏、8番・小原の右越え適時二塁打で勝ち越し、7回裏には1番・門野の大会第17号の右中間ソロホームランで貴重な追加点をあげた。また、東北の3番手・山本は3イニング打者9人を完璧に抑え、試合を決めた。一方、石巻は、背番号6・本木投手の159球の粘投を軸に、4回表の4番・小野寺の中前適時打や、6回表の5番・武田の左越え二塁打などで同点とするなど、伝統校・石高の我慢強さが光る一戦となった。

令和2年東北地区高等学校野球宮城大会

準々決勝		仙台市民球場		2 時間 31 分		併		打安点盗犠四三残失併								
柴田	1 0 0	0 0 0	0 0 2	0 0 2	3	【柴】	30	3	3	1	3	3	8	6	0	0
仙台育英	0 0 0	2 1 0	0 1 ×	4	【仙】	30	8	4	1	1	2	4	5	3	0	
(球)	野田 学	(一)	大槻 充夫	(二)	山館 浩樹	(三)	鴫田 代志昭	▽本塁打		向坂(仙)						
【柴】	佐々木, 古山	—		阿部 翔	▽三塁打		なし									
【仙】	向坂, 菅原, 尾形	—		小野寺, 吉原	▽二塁打		なし		(柴)							
▽暴投		向坂2(仙), 菅原1(仙)		▽捕逸		小野寺1(仙)		佐々木		(仙)						

【評】
 第1シード仙台育英と柴田の一戦。接戦となった試合は4-3で仙台育英に軍配があがった。柴田は1回表仙台育英先発の向坂の初球を1番岩間が左前安打で出塁すると、2番佐藤の犠打と捕逸で一死三塁の場面をつくると3番阿部着のスクイズで先制した。
 1点を追う仙台育英は4回裏3番佐々木の左二塁打で好機をつくると二死三塁から5番向坂の大会18号となる右越2点適時本塁打で逆転した。続く5回裏には7番鈴木木の遊安打と盗塁、四球で好機を広げ二死一二塁から2番宮本の中前適時打で1点を追加した。
 粘る柴田は4-1でむかえた9回表代わった仙台育英の菅原から、失策と四球・暴投で無死二三塁の好機をつくと6番代打の伊藤の内ゴロ間、7番代打の二適時安打で2点を挙げ1点差まで追いついた。あと一歩及ばず、悔しい敗戦となった。

準々決勝		仙台市民球場		1 時間 56 分		併		打安点盗犠四三残失併								
東	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0	【東】	29	4	0	0	1	1	8	4	1	0
東	0 2 0	0 0 0	1 0 ×	3	【東】	33	9	2	0	1	2	4	9	0	1	
(球)	三浦 徹	(一)	高橋 勝	(二)	毛利 晃	(三)	小松 宗夫	▽本塁打		なし						
【東】	小野寺, 岩崎, 山本, 菅原	—		佐藤	▽三塁打		なし									
【東】	佐藤 柳	—		大沼	▽二塁打		なし		(東)							
▽暴投		山本(東北)1		▽捕逸		なし		穴戸		(東)						

【評】
 第5シードから順当に勝ち上がった東北と好投手・佐藤(柳)を擁し第2シード仙商を破り、波に乗る東陵の宮城の私学を代表する雄士の準々決勝となった。
 東陵は2回、死球と安打を絡め好機を作り内野ゴロと9番・佐藤(柳)の右前適時打で2点を先制した。また、7回には2番・村上と3番・穴戸の連続安打から好機を作り、暴投から貴重な3点目を挙げた。
 一方、東北は4投手の継投により、最小失点で凌いだ。打線が繋がらず得点には至らなかった。この試合も東陵の佐藤(柳)は、強力・東北打線を4安打8奪三振で完封し、ゲームを圧倒的に支配した。これで佐藤(柳)の連続無失点イニングは31となった。

準々決勝		石巻市民球場		2 時間 17 分		併		打安点盗犠四三残失併								
古川工業	0 0 0	1 2 0	0 0 0	3	【古】	32	9	3	0	4	4	3	10	4	1	
仙台第一	1 0 0	0 0 3	0 1 ×	5	【仙】	30	5	2	3	0	7	7	8	2	2	
(球)	佐藤 圭	(一)	平岡 勲	(二)	高橋 弥寿仁	(三)	手塚 仁基	▽本塁打		なし						
【古】	岩崎, 小関	—		板垣	▽三塁打		山口(仙)									
【仙】	篠村, 奥山	—		武藤	▽二塁打		小関		(古)							
▽暴投		小関1(古), 篠村1(仙)		▽捕逸		なし		唯野		(仙)						

【評】
 一高は一回裏2番山口が右翼線3塁打で出塁、4番唯野が四球で出塁し2盗の間に、捕手の送球が悪送球となり先制した。
 古工は一高先発篠村に3回まで散発3安打に抑えられていたが4回表3番岩崎、4番板垣の連続四球、暴投と5番齋田の左前打で追いついた。5回にも一高2番手奥山から8番小川の左前打、9番水戸の犠打野選、1番高橋凌の中前打、2番小野のバント安打で2点をあげ逆転した。
 一高は6回古工2番手小関から3番三好の内野安打、唯野の右翼線2塁打、暴投と盗塁、投手の3塁への悪送球で3点をあげ再逆転すると、8回にも唯野の四球、5番小池の左前打、ショートエラーで1点を加え、追いつける古工を突き放した。5回から登板したエース奥山は6回以降古工打線を2安打に抑え準決勝進出をはたした。

準々決勝		石巻市民球場		2 時間 15 分		併		打安点盗犠四三残失併								
利府	0 0 0	0 0 1	0 0 0	1	【利】	28	4	1	0	1	5	9	6	1	0	
仙	1 0 2	0 2 0	0 0 ×	5	【仙】	28	7	5	3	3	5	13	7	1	3	
(球)	武田 徹	(一)	菅原 幸	(二)	細川 和行	(三)	高橋 正博	▽本塁打		なし						
【利】	茂木, 仁田, 小森	—		日野, 高橋元	▽三塁打		なし									
【仙】	鎌田	—		藤原, 大橋	▽二塁打		なし		(利)							
▽暴投		鎌田1(仙台)		▽捕逸		日野1(利府)		坪田, 加藤2		(仙)						

【評】
 5対1で仙台高校が勝利した。
 仙台高校は初回先頭金井が四球で出塁すると、2番西野の犠打で一死二塁とし、3番坪田の中前適時打で先制した。3回には1・2番の2連続安打で3点差とリードを広げた。
 その後、5回にも2点を追加し、相手を引き離した。
 利府高校は初回と3回にチャンス場面はあったが、二度とも併殺打で生かせず、6回四球と安打で一点を返すのみに終わった。
 仙台高校主戦の鎌田は序盤に直球の制球が定まらず苦しみ5四球を与えたが、最終的には9奪三振と利府につけ入る隙を与えなかった

令和2年東北地区高等学校野球宮城大会

□大会第14日目 7月30日(木)

準決勝 石巻市民球場 2時間 37分

仙台	育英	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
育英	2	1	0	0	0	0	1	0	3	×				7

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【一】	31	5	1	0	0	4	12	7	3	1
【育】	34	11	6	5	2	6	1	11	0	0

(球) 太田博昭 (一) 武田 徹 (二) 三浦 徹 (三) 毛利 晃

【一】 篠村, 大槻, 大友, 奥山 — 武藤

【育】 阿部, 粕谷, 杉山, 尾形 — 小野寺, 吉原, 亀田

▽暴投 なし

▽捕逸 なし

▽本塁打 なし

▽三塁打 田中(育)

▽二塁打 山口, 山本, 佐藤 (一)
鈴木, 佐々木 (育)

【評】

育英は1回裏一死から2番宮本、3番佐々木の左前打、4番入江の四球で満塁とし、5番石川の投ゴロと6番鈴木
の右翼線2塁打で2点を先行した。続く2回にも8番小野寺の四球と9番松本の犠打で1死2塁とし、捕手の2塁悪
送球で1点を加えた。

一高は4回表2死から佐藤颯の左中間2塁打と8番篠村の左前打で1点を返した。

育英は6回にも松本の左前打と佐々木の左翼線2塁打で1点、8回には四球と1番田中の左中間3塁打、犠打エ
ラーと右前打と左前打で3点を奪い一高を圧倒した。

一高は育英の先発阿部、粕谷、杉本、尾形の4投手に散發5安打に抑えられ決勝進出を逃した。

準決勝 石巻市民球場 2時間 3分

東陵	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
仙台	0	0	2	2	0	0	0	0	0	×				4

	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【東】	34	7	1	1	1	1	4	8	4	0
【仙】	33	9	4	1	3	1	9	9	1	0

(球) 錦田代志昭 (一) 加藤正弘 (二) 沼辺力也 (三) 佐藤 圭

【東】 佐藤柳, 小野寺 — 大沼

【仙】 鎌田 — 藤原, 大橋

▽暴投 小野寺1(東)

▽捕逸 なし

▽本塁打 なし

▽三塁打 なし

▽二塁打 なし (東)
なし (仙)

【評】

仙台が4対1で東陵に勝利した。

東陵は2回6番からの3連打で1点を先制したが、その後は散發の4安打と仙台の主戦鎌田の前に
得点することができなかった。

一方、仙台は3回3安打で2点、4回にも3安打で2点と東陵の佐藤投手から4点を挙げた。

東陵は佐藤から小野寺への継投で反撃の機会をうかがったが実らなかった。

仙台の鎌田投手は117球を投げ、7安打を浴びたが、失点1と粘り強い投球を見せた。

—